

【 かながわ防災・減災セミナー】

～東日本大震災被災地支援ボランティア活動での岩手の広域支援と神奈川の後方支援経験から、神奈川での災害ボランティア受援力向上へ活かす～

東日本大震災時、岩手では平時より災害時の後方支援拠点として準備を行っていた遠野市において「遠野モデル」と呼ばれる支援活動が行われ、ボランティア活動支援では広域連携体制が構築された。一方、神奈川県では、県、県社協、県災害ボランティアネットワークによる「かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業」による被災地外からの支援活動を開始。その後、岩手県内での宿泊可能な現地後方支援拠点「かながわ金太郎ハウス(愛称)」が設置された。

これら現地や神奈川での取組みを踏まえ、県内発災時に、どう後方支援拠点を運営できるか。また、どうすれば広域支援を円滑に受け入れることができるか。震災5年目において再び考える。

日時 平成28年2月28日(日) 14時00分～17時00分

会場 かながわ県民センター11階講義室
(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 横浜駅西口より徒歩5分)

定員 50名

内容 第1部 事例発表 14時10分～15時50分

1. 岩手県内被災地支援における遠野市が果たした役割～遠野モデルについて～
遠野市社会福祉協議会前常務理事 遠野まごころネット 初代代表 佐藤正市氏
2. 東日本大震災からの教訓を活かして 「いわてNPO記録誌」配布
いわて連携復興センターネットワーク 推進員 中野圭氏
3. 神奈川県ボランティア被災地宿泊支援拠点「かながわ金太郎ハウス」設置の経緯
かながわ県民活動サポートセンター 所長 坂井雅幸氏
4. かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業を通じての後方支援活動
元かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業代表 植山利昭氏

参加
無料

第2部 パネルディスカッション 16時00分～16時40分

「東日本大震災の支援経験からの神奈川発災時におけるNPO・災害ボランティアの県内外広域連携と後方支援拠点について」

パネリスト：事例発表者

コーディネーター：塩沢祥子氏(元かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業事務局、神奈川災害ボランティアネットワーク運営委員)

※終了後、懇親会予定(要申込み 4,000円程度を予定)

対象 災害支援に興味のある方どなたでも

申込方法

お名前(ふりがな)・ご所属、懇親会参加について明記のうえ、お申込みください。メール：info@ksvn.jp、FAX：045-324-1120

詳細は
裏面を参照

主催：いわて連携復興センター

協力：(特非)神奈川災害ボランティアネットワーク、かながわ県民活動サポートセンター、(社福)神奈川県社会福祉協議会(申請中)、(社福)神奈川県共同募金会

申込み・問合せ：(特非)神奈川災害ボランティアネットワーク

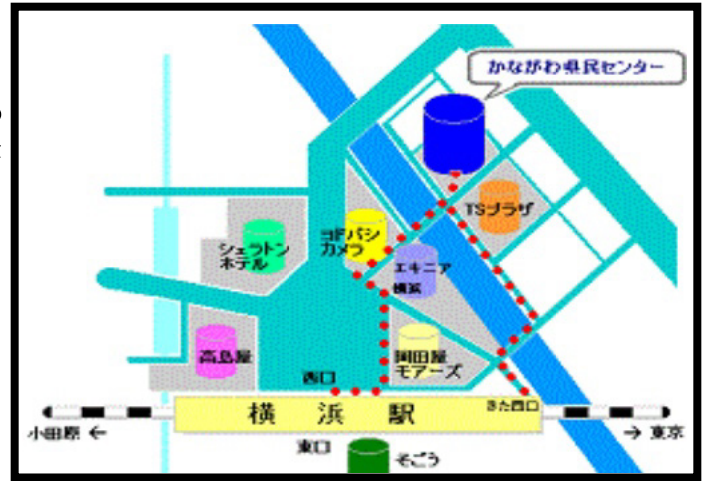
※本事業は、平成27年度日本郵便の年賀寄付金の助成を受けて実施いたします。

かながわ防災・減災セミナー

～東日本大震災被災地支援ボランティア活動での岩手の広域支援と神奈川の后方支援経験から、神奈川での災害ボランティア受援力向上へ活かす～

【日時】 2月28日(日) 14時～17時

【場所】 かながわ県民センター11階講義室
(横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 横浜駅(きた)西口 徒歩5分)



<第1部: 事例紹介> 14:10-15:50

[岩手での事例紹介] (各35分)

- ・「岩手県内被災地支援における遠野市が果たした役割～いわゆる遠野モデルについて～」(仮)
遠野市社会福祉協議会前常務理事 遠野まごころネット 初代表 佐藤正市氏
遠野市において、県内・県外からボランティアを受け入れ、沿岸被災市町村へ継続的に支援をしている「遠野まごころネット」を中心に、特に、被災復旧期での活動を中心に報告する。
- ・「東日本大震災からの教訓を活かして」
いわて連携復興センターネットワーク 推進員 中野圭氏
いわて連携復興センターでは、東日本大震災における岩手県内の支援団体の活動と果たした役割、そして活動の中から見えた広域災害時におけるNPOの役割や、平時から必要な取り組みについてまとめた記録誌「3.11いわてNPOの軌跡 - 東日本大震災における支援団体の取り組み」を作成。東日本大震災の事例をもとに、今後起こりうる災害に備えて、平時から必要な取り組みを考える。

[神奈川での事例紹介] (各15分)

- ・「神奈川県ボランティア被災地宿泊支援拠点「かながわ金太郎ハウス」設置の経緯」
かながわ県民活動サポートセンター 所長 坂井雅幸氏
現地に宿泊支援拠点を設置することにより、かながわからの后方支援にどう影響をもたらしたのか。また、設置するにあたって、どのような課題があったのかを共有する。
- ・「かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業を通じての后方支援活動」
元かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業代表、神奈川災害ボランティアネットワーク 理事長 植山利昭氏
神奈川県からのボランティアバス運行や支援物資募集など、後方からの支援事業・活動について共有する。

<第2部: パネルディスカッション> 16:00-16:40

テーマ: 「東日本大震災の支援経験からの神奈川発災時におけるNPO・災害ボランティアの県内外広域連携と后方支援拠点について」

岩手では、内陸の遠野市に后方支援拠点を設け、支援団体を結集しボランティア受入・派遣を行った。神奈川では、支援団体(NPO・ボランティア)は受入れ体制づくりでどうあるべきか、后方支援拠点のあり方はどうか。

【申込先】 (特非) 神奈川災害ボランティアネットワーク

お名前(ふりがな)・ご所属、懇親会参加について明記のうえ、メール・FAX・インターネット 経由でお申込みください。

メール: info@ksvn.jp FAX: 045-324-1120

インターネット (KSVネット 特設サイト): <http://ksvn311.jp>

【問合せ先】 (特非) 神奈川災害ボランティアネットワーク

メール: info@ksvn.jp 電話: 070-6513-2417 受付時間(月・水・土 13:00-17:00)



申込フォーム